

中央公民館だより

そろそろなかと



発行 | 長門市中央公民館運営協議会 広報担当
TEL | 0837-23-1181 FAX | 0837-22-3648
E-mail | chuo.kominkan@city.nagato.lg.jp

中央公民館広報紙
No.183



長門市中央公民館まつり ~ 出合い、ふれあい、学び合い ~

長門市総合文化財センター（ヒストリアながと） 今月の見どころ紹介

皆さんは日本の中世がいつ頃なのかを「存知ですか？

日本の中世は、西暦一〇〇〇年頃から一六〇〇年頃まで、主に鎌倉時代、室町時代にあたります。ちょうど今年のNHK大河ドラマ「鎌倉殿の十三人」が中世の始まり、来年の「どうする家康」が中世の終わり頃です。

さて、今回はヒストリアながとの「中世」、「長門のお宝」コーナーを紹介していきます。

「中世」

長門市内にある中世に建てられた城館遺跡をパネルで紹介しています。長門市内で見つかっている十四の遺跡のうち、六つを個別パネルで説明しています。

「長門のお宝」

長門市内にある指定文化財や貴重なお宝を、数か月おきに展示替えしながら紹介しています。

十一月からは、日置八幡宮所蔵の「紙本着色八幡縁起絵」を展示します。「紙本着色八幡縁起絵」は室町時代に作られたもので山口県の指定有形文化財になっています。また、九月のオープンから引き続き、長門市の指定有形文化財である「上利家文書」から古文書を展示しています。



「中世」

「長門のお宝」

今回紹介した

「中世」、「長門のお宝」コーナーは数か月おきに展示物が変わっていきます。展示替えや各種イベントを通して、一度といわず二度、三度お越しいただける資料館を目指してまいります。

わが家の宝子



みよし 三好 まこと 諒さん(4歳)

お外遊びが大好きで、いつも元気いっぱい走り回っています！まだまだ甘えん坊な一面もありますが、ケガなく健康に、妹と仲良くのびのびと育ててほしいです。

今月のうた

山茶花クラブ

台風の去りて青空戻りけり

行く秋や杖を諦め車椅子

切り払ふ鎌の手止める葛の花

永田美智子

長谷川典子

山田 耕司

長門短歌会

紅葉照る光の粒をまきながら

風のかたちに水面照る真昼

透き通り光輝く海を見て

もう少しだけ頑張ってみよう

白鷺の四羽頭上を飛んでゆく

朝陽に光る雲に向かいて

窪田 佳子

小林美由紀

前田 由美

深川地区の人口

世帯数	5,990 (+ 5)
男性	5,714 (- 4)
女性	6,606 (-11)
計	12,320 (-15)

(R4年9月1日現在)

中央公民館 11月の行事予定



5(土)	子どもクラブ
2(水)	スマホ教室 ※募集は締切済
5(土)・19(土)	キッズエクササイズ(3B 体操)
9(水)・23(水)	親子でJミックス
12(土)・26(土)	わくわく土曜塾
27(日)	健康ウォーキング

編集後記

▼朝ウオーキング&ごみ拾いしているといつの間にか金木犀の香りは終わり、朝夕寒くなつてまいりました。日本は季節を感じながら俳句を詠み、花や景色を愛でることができません。同じ地球上で同じタイミングで命の危険にさらされている。平和とは何か、幸せとは何か。人間とは？

第43回中央公民館まつり開催

9月24日(土)・25日(日)の両日、「第43回長門市中央公民館まつり」を中央公民館・物産観光センターを会場に開催しました。

このまつりは、生涯学習をしている公民館登録団体の年1回の発表の場です。まだまだコロナ禍ということもあり、参加団体、来場者の皆様には感染対策にご協力いただきながらの開催となりました。



ステージ発表では、日本舞踊や三味線、カラオケなどの登録団体に加えて、深川中学校吹奏楽部、深川小学校の音楽クラブも参加しました。

多くの様々な作品が並ぶ展示会場では、会場をまわるスタンプリー＆お楽しみ抽選くじを行いました。また、駐車場では飲食コーナーを設け、多くの来場者で賑わいました。



まつり前々日の準備には、

深川中学校バスケットボール部の生徒の皆さんのご協力をいただき、パネル設置など会場準備を行いました。また、まつり当日には、スタンプリー受付やステージ発表の司会進行など深川中学校の生徒の皆さんにお手伝いいただきました。



生徒の皆さん
ご協力ありがとうございました



外ではわくわく土曜塾の紙ひこうき飛ばし



わくわく土曜塾 ウォークラリーとのこぎり体験

10月8日(土)、わくわく土曜塾で赤崎山にて「長門の森で遊ぼう」をテーマに活動しました。

まずは、深川小学校から赤崎山の森の遊歩道を歩いてクイズに答えていく、班対抗のウォークラリーをしました。難しい問題もありましたが、中にはほとんど正解した班もありました。

次に、「NPO法人・人と木」の皆さんを講師に、実際に長門で切った木を見ながら、木の説明を聞きました。そして、それらの木をのこぎりで切る体験をしました。子ども用ののこぎりを使い、時間をかけて根気強く切り続けました。子どもたちからは、「木を切るのがこんなに大変だと思わなかった。」という感想が出ました。切った丸太は記念に持ち帰りました。

